

週刊ビル経営

平成24年12月24日

不動産マーケットを活性化するうえで国際化などが重要に

REB1000社の会



代表世話人
清水 修司氏

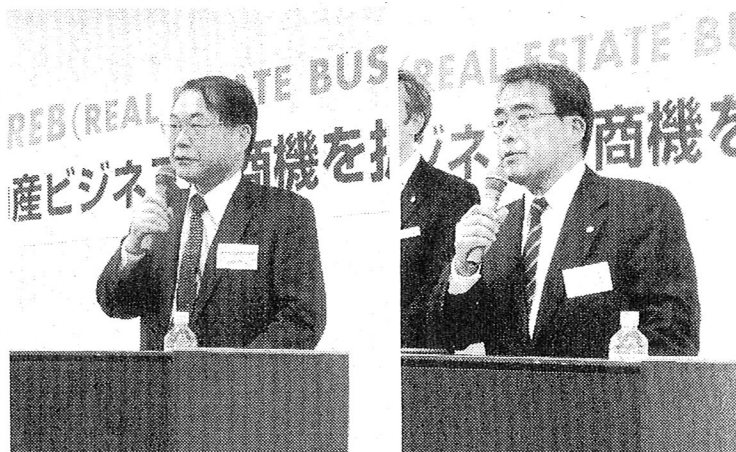
ユリープレイス丸の内」22階の東急リバブルコ
ンファレンスル
ームにて開催し
た。
第37回目とな
る今回は、「建築&不動
産ビジネスの商機を拡大
する『大望年会』」と題
して開催した。元気企業
PRでは東急リバブルの
取締役専務執行役員の北
川登士彦氏により、事業
用および投資用の物件を
中心に取り扱う、ソリュ
ーション事業本部が展開
するグ
ローバ
ル・ビ
ジネス
・デベ
ロップ
メント
について、不動産経
済研究所の代表取締役社
長である角田勝司氏によ
って講演が行われた。

SD建築企画研究所（東京都渋谷区）は、建築と不動産業界関係者が互いに情報の共有を行う「REB1000社の会」を19日に「パシフィックセンター」中心に取り扱う、ソリューション事業本部が展開するグローバル・ビジネス・デベロップメントについて、不動産経済研究所の代表取締役社長である角田勝司氏によって講演が行われた。

約270名が参加



「トンネルの崩落事故な情報交換が行われ、盛況のうちに閉幕した。なお、SD建築企画研究所の代表取締役である清水修司氏が代表世話人を務めるREB1000社の会では、来年も建築&不動産業界を大いに盛り上げるべく、新政権の動向、復興事業、エネルギー問題などの情報共有を欠かせずに展開していくという。



▲角田氏(左)・北川氏(右)がセミナーを行う